令和７年度 大野城市立大野中学校 学校通信 第１５号

「志」大野中だより

令和８年３月１１日(水)
文責:校長 瀬口 勇治

昨日、公立高校の一般入試が終わりました。進路選択に向けて頑張ってきた3年生も、ほっと一息ついていることでしょう。すでに進路が決定している人も多くいましたが、授業中も真剣に課題に向き合う姿が見られました。3年生全員で進路選択の大切な時期を乗り越えてくれたものと思います。卒業まであとわずかの中学校生活を仲間とともに楽しんでください。また、1年生、2年生も3年生の頑張る姿をしっかりとみつめ、自分たちのこれからの学校生活に活かしてほしいと願っています。

3月11日を忘れない

今日、3月11日（水）は、15年前に起きた「東日本大震災」の日です。2011年のこの日、午後2時46分、東北地方を中心に日本は大きな地震と津波に襲われ、多くの尊い命が失われました。町や家、学校、そして当たり前だった日常が一瞬で奪われました。

警察庁によると、震災による死者数は2026年3月1日までに全国で 15,901人、行方不明者は 2,519 人となっています。今もなお、ふるさとに戻ることができない人や、復興の途中にある地域があります。

3年生の皆さんは、ちょうど生まれたばかり、1，2年生の皆さんは、まだ生まれていない頃の出来事であり、直接の記憶はない人がほとんどだと思います。しかし、この出来事を「知らない」「関係ない出来事」にしてはいけません。大きな災害の記憶は、時間が経つにつれて少しずつ薄れていきます。だからこそ、私たちは震災のことを学び、語り継ぎ、決して風化させてはいけません。

震災から私たちが学ぶべきことはたくさんあります。自然の力の大きさ、人と人とが助け合うことの大切さ、そして「命を守る行動」の重要性です。災害はいつ、どこで起きるか分かりません。ここ日本は地震や台風などの自然災害と共に生きている国です。

では、中学生の皆さんにできることは何でしょうか。まずは、災害について知ることです。家族と避難場所や連絡方法を話し合うことも大切です。学校の避難訓練を「ただの訓練」と思わず、自分の命を守るための大切な機会として真剣に取り組んでほしいと思います。そして、困っている人がいたときに手を差し伸べられる人であってください。

15年という時間が経ちましたが、震災は決して過去の出来事ではありません。亡くなられた方々への哀悼の気持ちとともに、私たちは「命を大切にすること」「互いに支え合うこと」を心に刻み続けていきたいと思います。

3月11日という日を、未来へつながる「学びの日」として、皆さん一人一人が考えてくれることを願っています。

2年生進路学習会を実施しました。

2年生のキャリア学習の一環として、3月5日（木）に進路学習会を実施しました。2年生の保護者の皆様には、お忙しい中、多くのご参加をいただきありがとうございました。

さて、中学2年生も残り2週間になってきました。進路選択に向けていよいよ具体的な準備を始める時期を迎えます。今回の進路学習会は、進路選択の重要性を認識し、将来の目標や夢に向かって、主体的に取り組んでいくための第一歩となります。

学習会では、県立筑紫丘高校の徳永先生を講師にお迎えして「高校の入試と学習・生活」について講話をいただき、入試に至るまでの心構えなどについて聞くことができました。また、森先生からは、進路選択の心構えやポイント、高校の種類や公立高校の特色化選抜などの新しい入試制度などについて説明を行いました。

進路選択は、人生の重要な岐路となります。自分の個性や可能性を信じ、家族でのコミュニケーションを大切にしながら、じっくりと考えましょう。この進路学習会がこれからの進路選択にしっかりと向き合う気持ちを高めるきっかけとなってくれることを期待しています。

今後の行事予定

日程	学校行事	日程	学校行事
３月１２日（木）	3年生修了式、同窓会入会式	3月１８日（水）	専門委員会
３月１３日（金）	第79回卒業証書授与式	3月２４日（火）	修了式